

# 森林文化アカデミーの概要【資料3】

2024/4月更新版

森と木に関わる  
エンジニアとスペシャリストを  
育成する専門学校



GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE

岐阜県立森林文化アカデミー

# 第1 森林文化アカデミーとは、どんな学校？

## ▶ 岐阜県立の専修学校

**岐阜県立** 岐阜県民の税金で運営

**専修学校** 実践的な職業教育／専門的な技術教育  
(学校教育法124条に規定)

**設 立** 2001(平成13)年度

**前 身** 1955(昭和30)年 緑化促進青年隊

1965(昭和40)年 林業青年研修所

1971(昭和46)年 日本初の林業短期大学校

# 全国の林業大学校等の設置状況

令和6年4月現在

- 若手林業技術者の育成・確保のため、全国で26校が府県により設置・運営されている。
- 特に平成23年度以前は、全国に6校だったものが、近年、林業大学校等の数は増加している。

開校	H23年度以前	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度
四年制								静岡県立 農林環境専門職大学 (※4)			
二年制	群馬県立農林大学校 長野県林業大学校 岐阜県立森林文化アカデミー 静岡県立農林大学校(※4) 島根県立農林大学校	京都府立 林業大学校		秋田 林業大学校	山形県立 農林大学校	兵庫県立 森林大学校		北海道立 北の森づくり 専門学校  静岡県立 農林環境専門職大学短期大学部 (※4)	奈良県 フォレスターアカデミー	山梨県立 農林大学校	香川県立 農業大学校
一年制	公益財団法人熊本 県林業従事者育成基金 (※2)		みやざき 林業青年アカデミー (※3)	高知県立 林業大学校	とくしま 林業アカデミー おおいた 林業アカデミー ふくい林業 カレッジ	いわて 林業アカデミー  和歌山 県農林大学校	にちなん 中国山地 林業アカデミー みやざき 林業大学校 (※3) くまもと林業 大学校(※2)	奈良県 フォレスターアカデミー  青い森 林業アカデミー	林業アカデミー ふくしま  南予 森林アカデミー		栃木県 林業大学校
累計	6校	7校	8校	10校	14校	17校	18校	19校	21校	24校	26校

※1 下線付きは学校教育法に基づく専修学校 (※2)、(※3)、(※4)は現行の名称 (設立時名称は改変済み)

※5 その他、鹿児島県は、2025年(令和7年)に開校予定

※ 林業大学校の定義は特に定まったものではなく、学校教育法に基づく専修学校や各種学校、県の研修機関として位置づけられているものであり、修学・研修期間は1~2年間となっている。

# (1) アカデミーの敷地

～8haの校舎敷地 33haの演習林～



岐阜県  
美濃市



# (2) 主な施設



校舎敷地 8.1ha



森のコテージ



森の情報センター



森林総合教育センター morinos



オープンラボ



センター棟



メディアラボ



テクニカルセンター



林業機械学習棟

センターゾーン

宿泊ゾーン

森の体験ゾーン

テクニカルゾーン

# (3)個性的な教員たち



学長 涌井 史郎

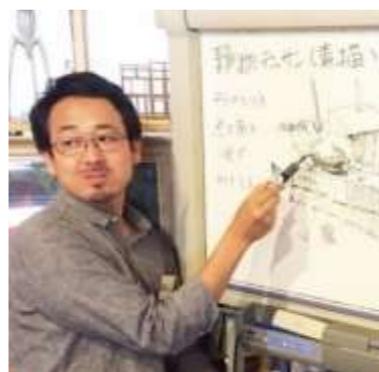
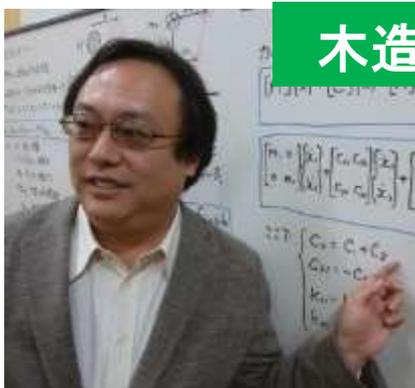


林業



森林環境教育

木造建築



木工



- 特別招聘教授 隈 研吾 (東京大学教授)
- 市川 晃 (住友林業(株)会長)
- 末松 広行 (東京農業大学教授)
- 客員教授 挾土 秀平 (職人社秀平組代表)
- 小田 忠信 (株クイビーガーデン社長)
- 飯島健太郎 (東京都市大学教授)

## 2 アカデミーの教育

◇基本理念：「森と人との共生」

◇3つの「教育」の柱

(1)専修教育 (2)専門技術者教育 (3)生涯教育

◇教員18人、学生総数 80人



# (1)教育の3本柱 ～ 学生と県民に学びを提供！

## I 専修教育 定員80名

エンジニア科  
(一般専修教育部門)



20名 × 2学年

クリエイター科  
(高等専修教育部門)



20名 × 2学年

## II 専門技術者教育



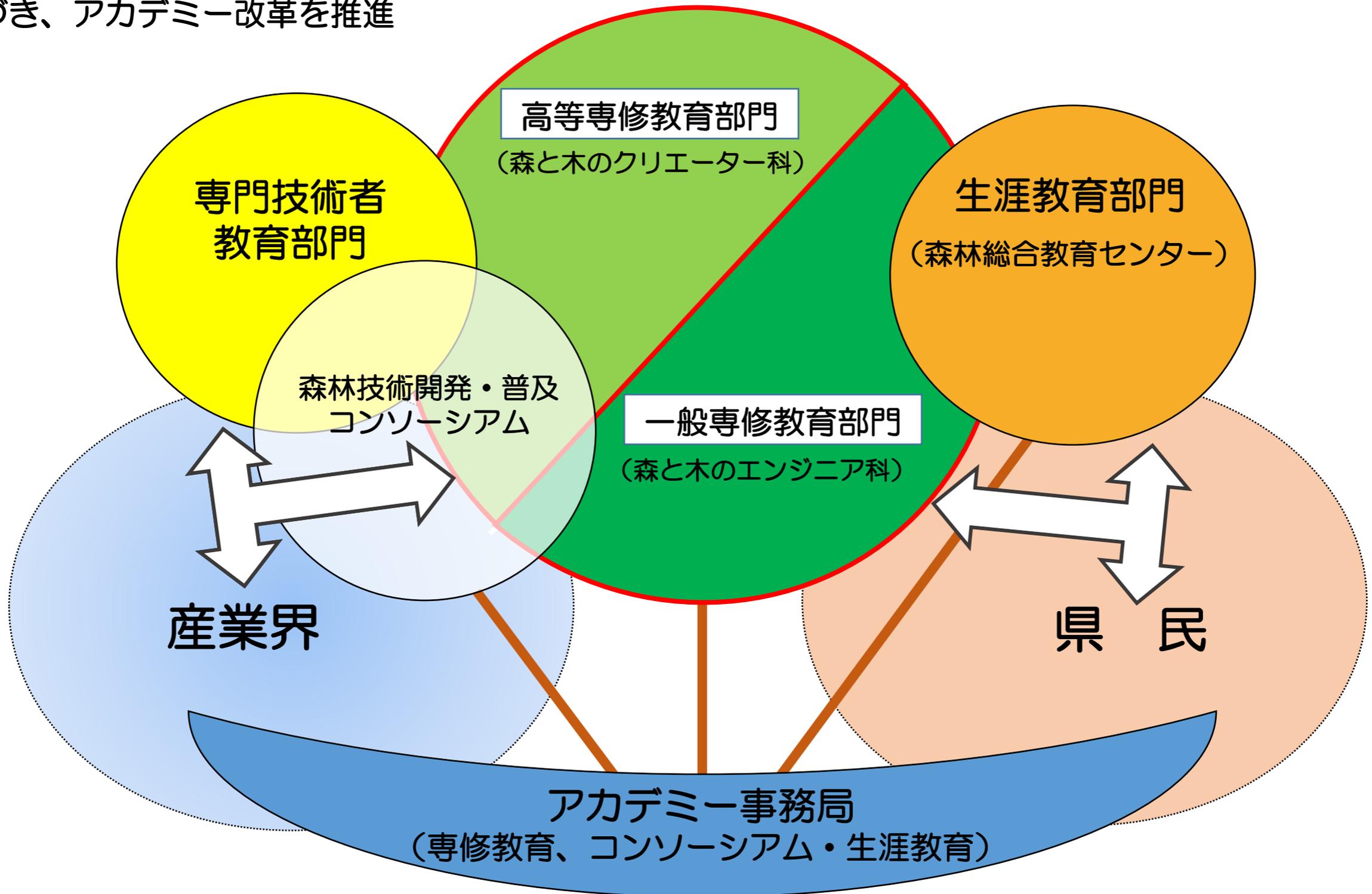
## III 生涯教育



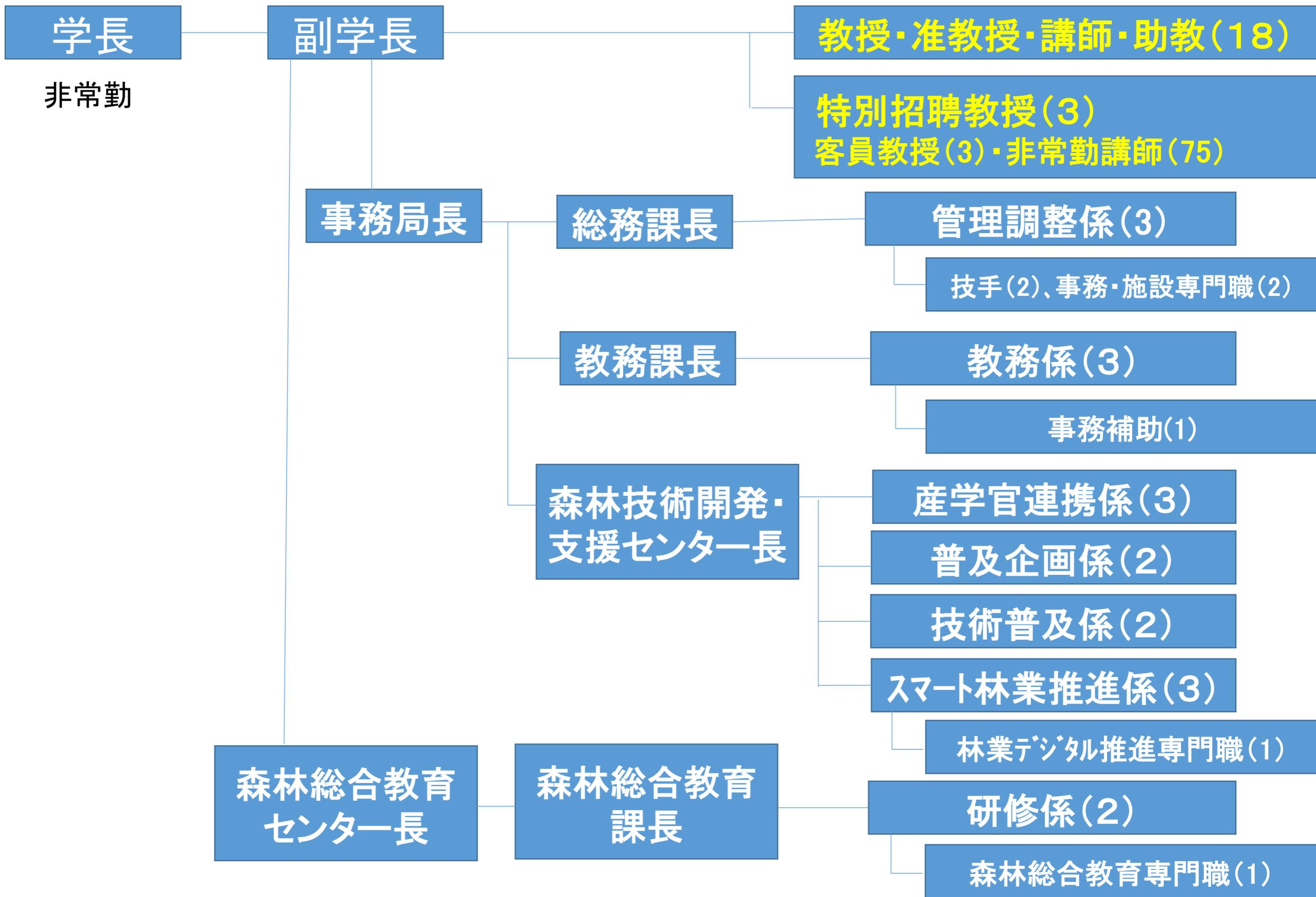
# (2)アカデミー改革

## 森林文化アカデミー改革方針による教育体系

H26年度 学長が提言した改革方針に基づき、アカデミー改革を推進



# (3)教育の推進体制



# 3 専修教育

## (1) 森と木の エンジニア科 (高卒以上)



林業コース



林産業コース

## (2) 森と木の クリエイター科 (大卒・社会人)



### 森林利活用分野

#### ① 林業専攻



#### ② 森林環境 教育専攻



### 木材利用分野

#### ③ 木造建築 専攻



#### ④ 木工専攻



# (1) 森と木のエンジニア科

現場から日本の森を元気に！ 自ら考え、行動できる現場人

## ●豊富な実習で学ぶ



## ●多様な設備・機械を活用して学ぶ



## ●実践フィールド「演習林」で学ぶ



## ●多分野の教員・協力企業から学ぶ



『人』・『場』・『モノ』を活かした  
現地現物主義

# 森と木のエンジニア科

## 2年間の学びと進路

1年生

森林・木材・林業・林産業の  
基礎的な知識と技能

2年生

林業の専門的な  
知識と技能  
(林業コース)

林産業の専門的な  
知識と技能  
(林産業コース)

・ 森林組合  
・ 林業会社

・ 公務員  
・ 進学

・ 木材市場  
・ 製材工場

# 森と木のエンジニア科

## 取得可能な主な資格

### <安全衛生教育>

- 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育修了証

### <特別教育>

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 伐木等機械の運転業務に係る特別教育修了証(ハーベスタ・プロセッサ)
- 走行集材機械の運転業務に係る特別教育修了証(フォワード等)
- 簡易架線集材装置の運転業務に係る特別教育修了証(スイングヤーダ等)
- 機械集材装置の運転業務に係る特別教育修了証

### <講習>

林業架線作業主任者に関する講習修了書

### <その他>

車両系建設機械・整地不整地運搬、クレーン・玉掛、フォークリフト、  
大型特殊免許、狩猟免許(毘猟)

## (2) 森と木のクリエイター科

### 現場における指導的役割を担う人材

#### 森林利活用分野

①林業専攻

②森林環境教育専攻

地域林業発展のための洞察力、創造力、企画を磨く

多様な現場に対応できる現場力を身に付ける

森林空間の活用と森を伝えるための技術や感覚を鍛える



#### 木材利用分野

③木造建築専攻

④木工専攻

ものづくりの仕事は暮らしの提案、暮らしの提案力を身に付ける

実際に作ることで、学外の専門家に交じり、緊張感の中で、実践から学びを得る

地域材での商品開発、技術開発



# 森と木のクリエイター科

## ① 林業専攻

新時代の林業・森林管理を担う専門家を養成

## 卒業後の進路

**林業**：森林組合、林業会社

**木材**：製材、木材市場、流通会社

**造園**：造園会社、公園整備会社

**建築**：設計事務所、工務店

**家具・木工**：家具製造会社、木工(起業)



# 森と木のクリエイター科

## ② 森林環境教育専攻

人と森をつなぐプロフェッショナルを養成

### 卒業後の進路

- ・自然学校・環境教育施設のスタッフ
- ・ビジターセンターのインタープリター
- ・造園、環境アセスメント会社
- ・地域づくりスタッフ
- ・コミュニティビジネス
- ・教育、福祉関係のスタッフ
- ・起業

and more・・・わらび粉職人、民具オモシロガスト、  
子連れでくつろげる古民家カフェ、・・・



# 森と木のクリエイター科

## ③ 木造建築専攻

木造設計者のスペシャリストを養成

### 卒業後の進路

- 設計事務所、建築士事務所
- 建設会社
- 工務店
- デザイン、意匠事務所
- 古民家再生ビジネス
- 起業



# 森と木のクリエイター科

## ④ 木工専攻

木工・木育のスペシャリストを養成

### 卒業後の進路

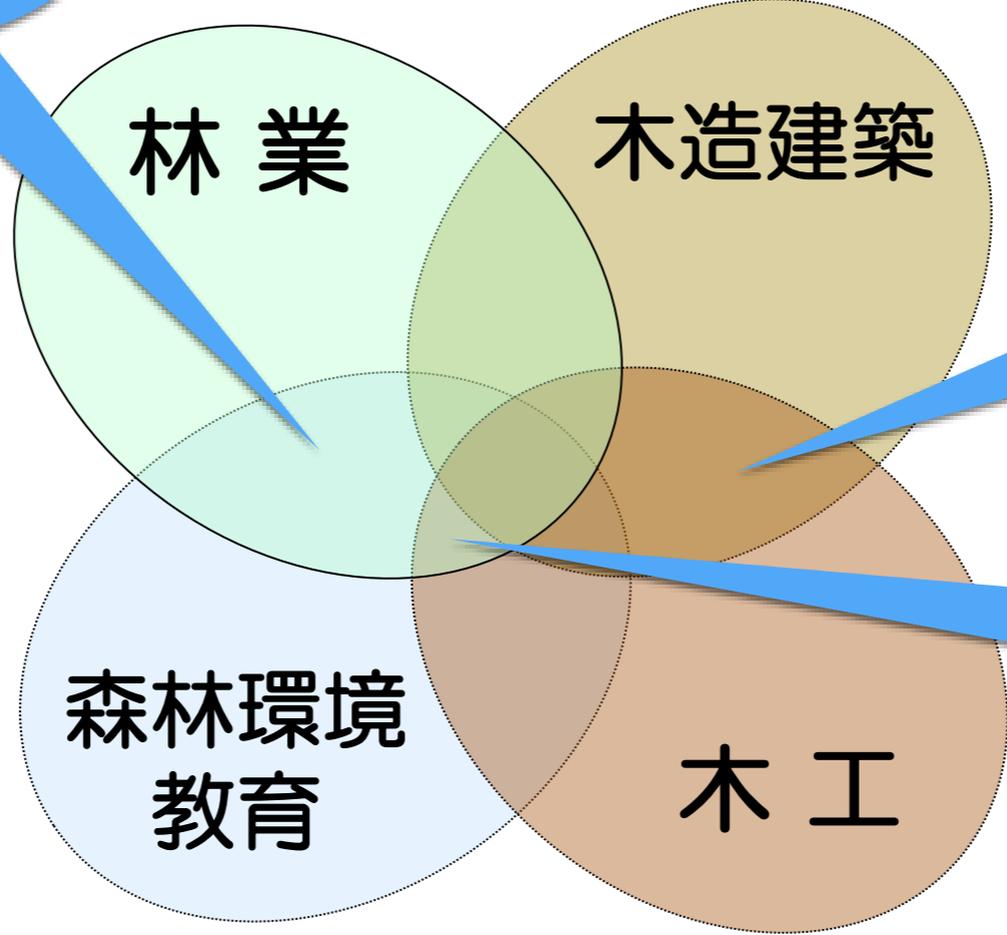
- 木工房起業、勤務
- 木材関連会社
- 美術館、博物館勤務
- 木育事業起業、木育指導員
- コミュニティビジネス
- NPO勤務、起業
- 木工作家、木工職人、家具職人



# 森と木のクリエイター科

## アカデミーに4つの分野があるメリット

森林組合で  
木育をやりたい！



古民家  
リノベーション



木工も林業も  
ガイドもできる  
自然学校スタッフ

例えば・・・環境教育・木造建築・木工の学生も林業・林産業を体験  
(植林からチェーンソー・刈払い機の特別教育、製材までを体験)



# 森と木のクリエイター科

## ＜プロジェクト授業の事例①＞

### 自力建設プロジェクト[木造建築専攻]

優れた教育プログラムとして受賞  
「2022年ウッドデザイン賞」



# 森と木のクリエイター科

## ＜プロジェクト授業の事例②＞

### 商品化・木作品品展示販売会[木工専攻]



### 木工の表現楽しんで

県森林文化アカデミー（美濃市曾代）で木工を専攻する一年生八人が十八日から三日間、岐阜の伝統工芸品を販売する長良川デパート湊町店（岐阜市湊町）で木工作品展「森から湊へ」を開く。器や皿、一輪挿しなど、材質やデザインにこだわった身近な品を展示販売する。

授業の一環でオリジナルの商品開発に昨年末から取り組んでおり、「長良川」をテーマに同デパートやアカデミー教員の意見も取り入れ、岐阜らしさや木の特性を生かした作品を企画した。手作りならではの、一点ごとの異なる木目や色合いが魅力だ。

田中正夫さん（三）は鶴舟をイメージした小皿を、陳平芸さん（五）はアユの形をした風呂敷バッグの持ち手を出品。陳さんは「トチの波打った木目で清流を表現した」と話す。池

富士裕さん（三）は鶴が枝をくわえる姿をモチーフにした一輪挿しを制作。美濃和紙を使って地元らしさを取り入れた。池富士さんは「岐阜らしさを強く意識し、悩みながら制作に取り組んだ。それぞれが長良川をどう表現しているかを見て、ストーリー性を感じてほしい」と話している。（本間貴子）

富士裕さん（三）は鶴が枝をくわえる姿をモチーフにした一輪挿しを制作。美濃和紙を使って地元らしさを取り入れた。池富士さんは「岐阜らしさを強く意識し、悩みながら制作に取り組んだ。それぞれが長良川をどう表現しているかを見て、ストーリー性を感じてほしい」と話している。（本間貴子）

## ＜プロジェクト授業の事例③＞

### アベマキ学校机プロジェクト[木工専攻]

ウッドデザイン賞**2015**で優秀賞（林野庁長官賞）を受賞

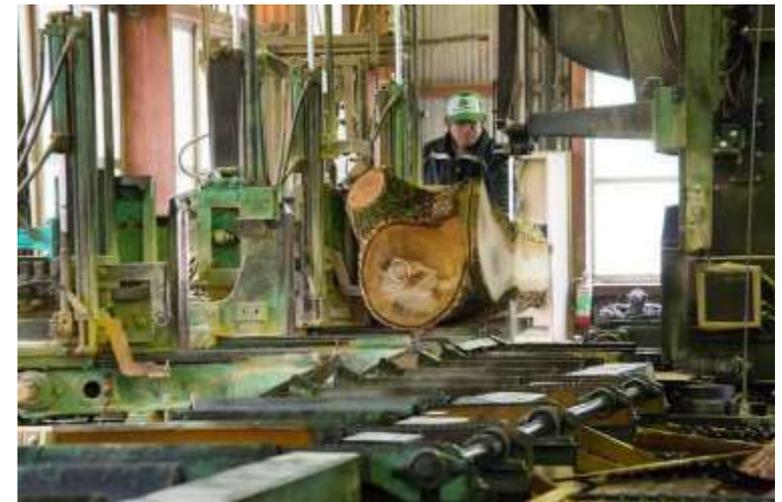
①伐採を見学（小5）



小学校の  
環境教育  
と連携

②天板に加工／見学・体験（小6）

※製材・乾燥・製造



循環

毎年行い、持続的な里山整備と、地元の里山での思いをつなぐ環境教育を実現

⑤天板とともに卒業

あえて傷や落書きを活かし、卒業証書入れ、ペンなどに加工



④6年間大切に使用



③新1年生へ天板を贈る



# (3)全国から集まる学生(R6年度学生)

- 18～60歳代まで、いろいろな世代の学生と一緒に学んでいる
- 出身は岐阜県や東海圏に限らず、全国各地から集まり、外国出身の学生もいる。

<R6学生の年代別構成>

年代	エンジニア科			クリエイター科		
	男	女	計	男	女	計
10代	32	6	38			
20代				9	6	15
30代				10	6	16
40代				5	4	9
50代				3	3	6
60代				1		1
<b>計</b>	<b>32</b>	<b>6</b>	<b>38</b>	<b>28</b>	<b>19</b>	<b>47</b>

## R6年学生の平均年齢

- エンジニア科 18.0歳
- クリエイター科 36.1歳

クリエイター科の前職は、大学生や建築関係など様々

都道府県	エンジニア	クリエイター	計
北海道		1	1
宮城県	1		1
新潟県		2	2
茨城県		1	1
千葉県		2	2
埼玉県		1	1
東京都	2	2	4
神奈川県	2	3	5
山梨県		1	1
福井県		1	1
長野県		3	3
岐阜県	21	6	27
静岡県	2	1	3
愛知県	5	5	10
三重県		4	4
大阪府		4	4
和歌山県	1		1
兵庫県		2	2
岡山県	1		1
広島県		2	2
島根県	1	1	2
山口県	1		1
徳島県		1	1
愛媛県		1	1
福岡県	1	1	2
中国		1	1
オーストラリア		1	1
<b>合計</b>	<b>38</b>	<b>47</b>	<b>85</b>

## (4) 入学金・授業料／奨学金・給付金

### 【エンジニア科】

入学金 169,200円

授業料 118,800円(年間)

大垣共立銀行奨学金	年額10万8千円
十六銀行奨学金	年額10万8千円
岐阜信用金庫奨学金	年額10万8千円
美谷添奨学金	年額10万円

### 【クリエイター科】

入学金 282,000円

授業料 535,800円(年間)

特別給費生奨学金	年額56万円
美谷添奨学金	年額10万5千円

### 緑の青年就業準備給付金

将来、林業分野(森林組合、林業事業体など)へ就職し、中核を担うことに強い意志を持っている人が対象

年額 上限125万円／最大2年間

## (5)自治体等との連携協定

- 美濃市(H24.3.21～)  
道の駅整備、古民家改修、森林整備など
- 美濃加茂市(H28.8.9～)  
学生支援制度、里山林整備など
- 中津川市(H31.4.10～)  
学生支援制度、誕生記念事業など
- 白川町(R2.3.9～)  
学生支援制度、スマート林業など
- 飛騨市(R2.6.9～)  
学生支援制度、広葉樹活用人材育成など
- 高山市(R3.3.8～)  
学生支援制度、森林利活用など
- 下呂市(R5.3.6～)  
学生支援制度、人材育成・市有林管理など
- 林野庁中部森林管理局岐阜森林管理署(R5.3.6～)  
国有林の授業活用、人材育成など



### これまでの連携協定の実績

- 揖斐川町  
(H28.3.7～R4.3.31)  
学生支援制度、  
森林整備、生涯学習など
- 豊田市/豊田森林組合  
(H30.3.5～R4.3.31)  
職員の林業研修など

## (6) 連携自治体による学生支援制度

自治体名	制度名	対象要件	対象経費
美濃市	美濃市岐阜県立森林文化アカデミー卒業生新規林業就業支援給付金	卒業後、住民票を保有し在住、市内林業事業体に3年以上就業の意思有、45歳未満、林業現場作業で常用雇用として新たに採用された者 等	30万円を1回家賃、研修費、機材購入費等
揖斐川町	揖斐川町岐阜県立森林文化アカデミー就学支援事業補助金	卒業後町内に在住し、森林関連企業等に3年以上勤務	授業料の1/2
中津川市	中津川市森の担い手育成支援事業補助金	卒業後市内の林業事業体等に補助対象期間の3/2を超える期間就業	授業料の1/2以内
白川町	白川町林業技術者修学資金貸付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無利子貸付</li> <li>・ 卒業後市内の林業関係事業体への就職または起業し、貸付期間の1/3経過で返還免除</li> </ul>	授業料、教材費、実習費
飛騨市	飛騨市林業・木工技術者育成確保推進基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無利子貸付</li> <li>・ 卒業後3か月以内に市内の林業事業体等に勤務、または起業</li> <li>・ 上記在職期間に応じて返還額を免除</li> </ul>	授業料、教材費、実習費
高山市	高山市林業担い手学生支援事業補助金	卒業後、市内に居住し、森林・林業に関わる業務に3年以上勤務又は起業	入学金、授業料、教材費、資格取得費、資材費
下呂市	下呂市林業担い手就学支援金（別途「就業支援金」もあり）	卒業後1年以内に市内に居住し、市内の林業事業体等に補助対象期間2/3を超える期間継続勤務	授業料、教材費、実習費の1/2以内

## (7)海外連携

■平成26年11月にドイツ・ロッテンブルク  
林業大学との間で教育・人材育成等の連携  
覚書を締結した  
令和元年10月連携協定を延長した



■教員や学生の交流を実施

- ◇両大学間での学生交流、  
短期研修、留学
- ◇教員による共同研修、研究
- ◇ドイツの森林、林業、建築、  
環境教育等の調査
- ◇両校学生による共同ワークショップなど



# 4 専門技術者教育

企業や森林組合などで働く技術者等を対象に、最新の知見や技術を提供

## 新たな森林管理システム総合研修

### 【背景】

H31年度から森林経営管理法が施行され、市町村が地域の森林を適切に管理することが義務付け

### ①岐阜県地域森林監理士養成研修

- ・森林経営管理制度
- ・地域課題への対応能力の向上

### ②施業プランナー研修

- ・森林施業能力の向上

## 専門技術者研修

### 【背景】

中小企業や森林組合で働く技術者の研修の場が必要

### ①林業技術者向け

- ・広葉樹の森づくり
- ・スマート林業 など

林業技術者  
向け



### ②木造建築技術者向け

- ・木造建築構造、性能 など

木造建築  
技術者向け



# (1)地域森林監理士と施業プランナー

## 岐阜県地域森林監理士(本県独自の資格)

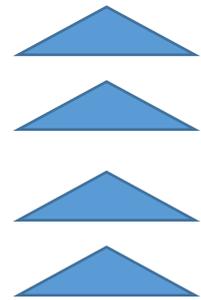
<役割>

- ・ 森林経営に関する地域課題の解決指導
- ・ 市町村森林管理委員会等での施策提言

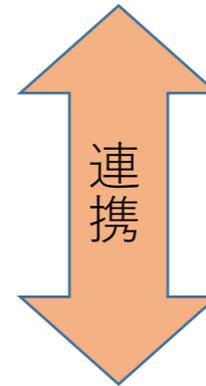
支援

森林経営の主体  
(市町村・森林所有者)

地域の森林経営に関する課題を、地域が主体となって解決



施業プランナー  
を対象とした  
資格試験



連携

## 施業プランナー(県の研修修了者)

<役割>

- ・ 森林経営計画の策定に関する指導
- ・ 森林施業の実行監理に関する指導

支援

森林施業の主体  
(森林組合等)

森林施業を適切に実施

支援

# (2)岐阜県地域森林監理士養成研修

— R5年度の実績(全16回) —

R5の受講生4人 / H29~R5で修了者39人(累計)を育成  
(うちH29~R5で認定者 36人)



災害リスクについての  
実地研修

現地研修



森林経営管理  
制度についての  
座学

座学研修



地域の林産業  
の現場を  
実地調査

現地視察



地域の関係者  
に、課題及び  
解決方法の  
提案をプレゼン

地域への提案プレゼン

## (3) 施業プランナー研修

— R5年度の実績(全19回【育成研修:12回、実践力向上研修:7回】)

R5の受講生15人(育成:9人、実践力向上:6人)

／ H20～R5で累計205人を育成



森林施業の  
専門知識を  
習得するた  
めの講座



育成研修



現場での課題  
を解決する手  
法を学ぶ講座



実践力向上研修

## (4) 専門技術者研修

### － R5年度の実績 －

#### < 林業技術者向け >

##### ■ 広葉樹の森づくり(きのこ原木生産研修等) (全4回)

- ・広葉樹の基本的な特性と整備の考え方を学ぶ現場実習

##### ■ 広葉樹の森づくりフォローアップ研修 (全1回)

- ・広葉樹人工林施工事例を基に、樹種の適性や獣害対策の進め方を検討

##### ■ 林業×ITハッカソン@岐阜 (全1回)

- ・林業関係者とIT技術者が交流してスマート林業のアイデアを激論

#### < 木造建築技術者向け >

##### ■ 木造建築耐震セミナー (全5回)

- ・木造建築の許容応力度計算演習

##### ■ 木造建築セミナー (全3回)

- ・これからの木造建築構造を考える



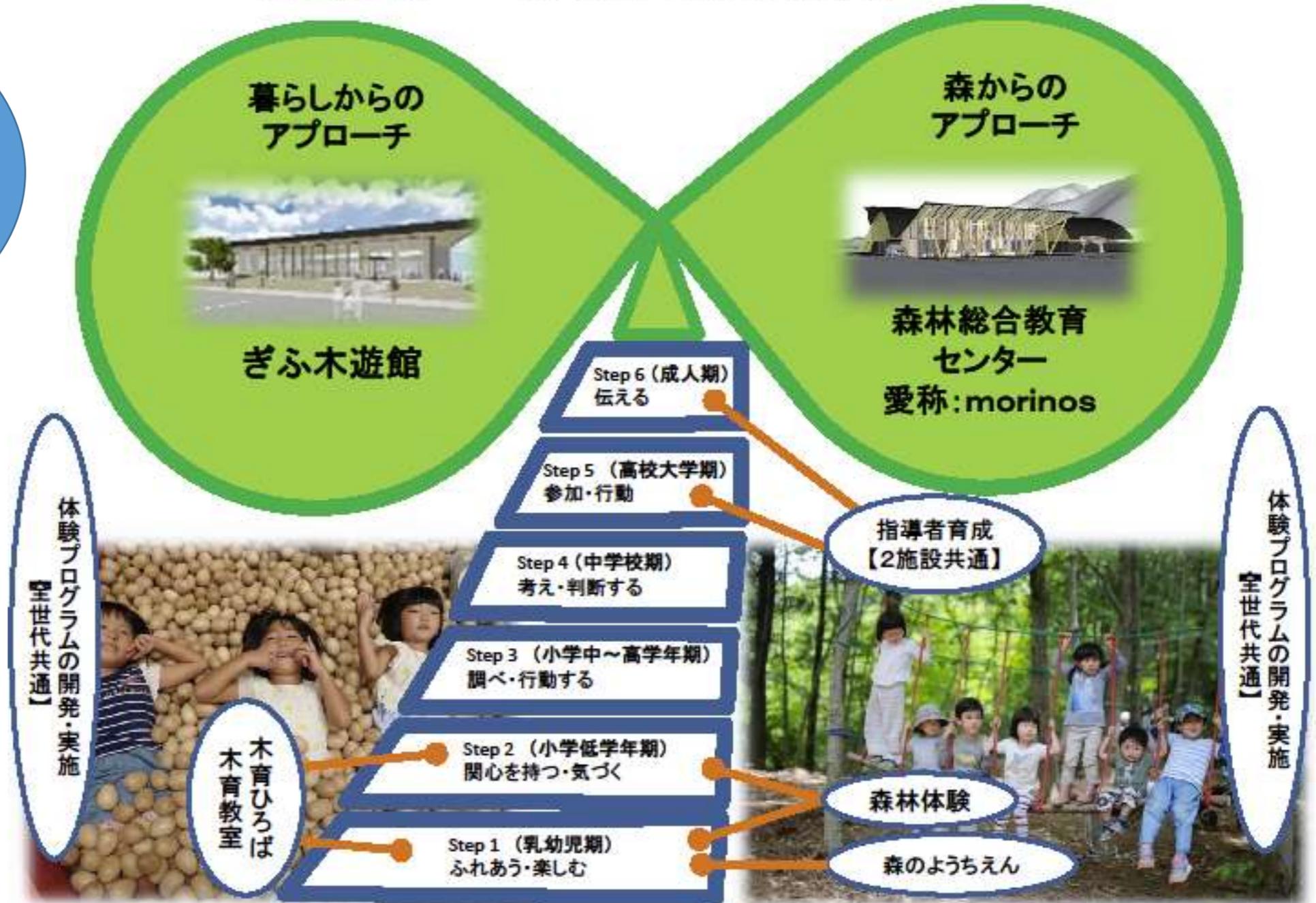
# 5 生涯教育

## ぎふ木育

全世代の  
県民が対象

- ・ 県は、「木と共生する文化」を次世代につないでいくため「ぎふ木育30年ビジョン」を策定
- ・ 「森林総合教育センター」と「ぎふ木遊館」はその推進拠点

“ぎふ木育” ひろがりは無有限大 ~ ∞ ~



# (1) 森林総合教育センター(愛称: morinos)

## 「ぎふ木育」の推進拠点のひとつ(森からのアプローチ)

- ・ 県の森林教育の総合拠点であり、アカデミーの森の入口
- ・ モデルはドイツBW州のハウス・デス・ヴァルデス (森の家)
- ・ 建築家隈研吾氏の指導を受けて学生が基本設計
- ・ 丸太V字柱は、学生が演習林から伐採・搬出
- ・ 県在住の左官職人挾土秀平氏がシンボル壁を製作
- ・ 企業と連携したはだしの広場やヴァルトカー整備



隈研吾氏の指導



学生が丸太を  
伐採・搬出



挾土秀平氏による壁塗り



はだしの広場  
【清水建設(株)協力】



ヴァルトカー  
【住友林業(株)協力】

象徴的な丸太の  
V字柱

夏の太陽光を遮る  
南面の大きい軒

明かりを採り入れる  
全面ガラス (断熱)



## (2)アカデミーの生涯教育の役割

すべての人と森をつなぎ、森と暮らす楽しさと、森林文化の豊かさを、子どもから大人まで段階的に伝えることが、アカデミー生涯教育の目指すもの

県民が森を体験  
できる場を提供

指導者・民間団体  
を育成

### ①世代別に提供する プログラム



森のこけこっ子  
キャンプ

ロゲイニング  
inみの



### ②教育機関等との 連携プログラム



小学校の授業  
(森のじかん)

### ③指導者・民間団体の 育成プログラム

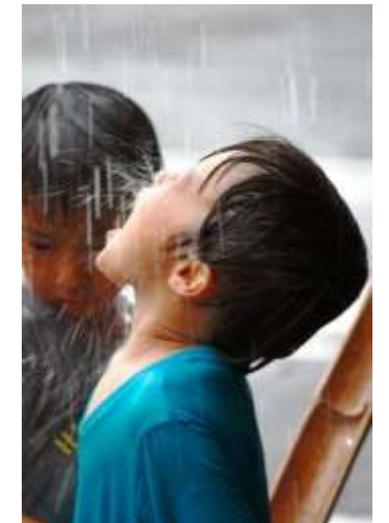
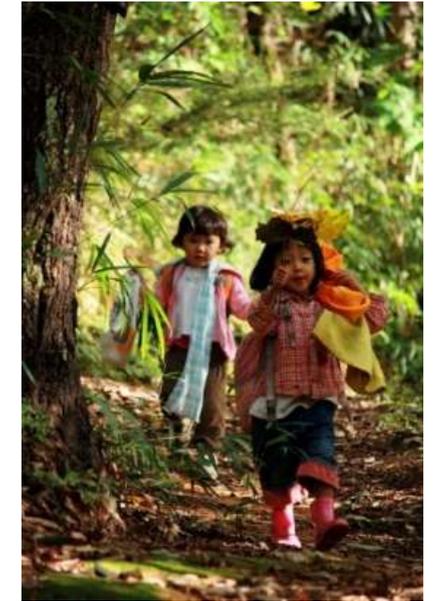


リスクマネジメント講習会

# (3)世代別に提供するプログラム(未就学児+親)

森林文化アカデミーの生涯教育の一環として2008年に岐阜県で最初の「森のようちえん」として始まった「森のだんごむし」。

デンマークで始まった森の中で保育をする取組みはドイツをはじめ、ヨーロッパ各地で行われ、日本でも広まっており、2019年には、岐阜県で「森のようちえん全国交流フォーラムinぎふ」が森林文化アカデミーで実施された。



森のようちえん



# (4)世代別に提供するプログラム(小学生から大人まで)

## 小学生



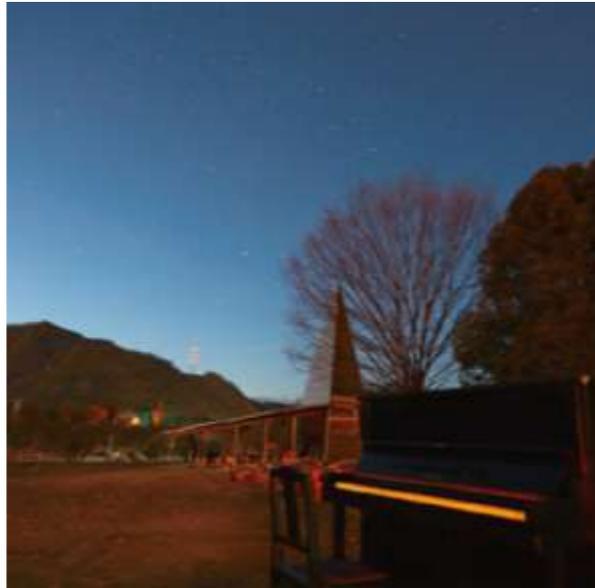
### こどもキャンプ

小学生向けに夏や冬に2泊3日などで実施するキャンプ。

決まったプログラムはなく、

「さあ、なにしたい？」から始まり、何をするかは全員で話し合っで決める。森の探検や川遊び、秘密基地づくり、虫捕り、たき火、などなど様々な遊びが子どもたちを主体として展開される。

## 全世代



### 森×音楽プログラム

森xoolにより、森との関わりの少ない方に森と接するきっかけをつくる。

夜の森の新しい楽しみ方として、音楽を取り入れることを目的に、アカデミーの広場に美濃市の廃校から譲り受けたピアノを設置し、寝袋に入りながら演奏を聴く。

星空とピアノの音色が重なり、幻想的な空間となり、森林と人をつなぐプログラ



### 自然観察プログラム

森林の中に生きている昆虫や鳥などの生き物を観察するプログラム。その季節にしか見られない生き物たちの生態を生き生きと話す講師たちに子どもも大人も夢中で聴き入る。自然についてより深く理解していく。

## 社会人



### はだしのトレイルづくり

morinosひろばからつながる「はだしのトレイル」を参加者の力でつくる。1年以上の期間をかけて毎回テーマを決めて作業を進める長期プログラム。自分たちの手で場所の剪定、森林整備、トレイルコースづくりを進める。裸足のトレイルづくりを通して森林とより深くかかわる。

# (5)教育機関等との連携プログラム

## 小・中学校



### 小学校での出前プログラム

森の中で小学校のカリキュラムに連動した活動を行う実験的な取り組み。森の中で授業を実施することで、体験から学ぶ「アクティブラーニング」を進める。

## 特別支援学校



### 特別支援学校 森の教室

中3による森の体験を実施。学校の近くの森の中で自由に過ごし、小学部の子どもたちとも一緒に遊べる場所を作っていくことを目標に、長期的な支援を実施中。

## 保育士を養成する大学



### 保育士の卵たちの森林体験

保育士の原体験不足が幼児期の自然体験減少につながるのではないかと課題を受け、保育士養成課程のある大学と連携し、火起こし、焚き火料理、夜の森散歩などの森林体験を実施。

## 保育園



### 保育園での森林体験

公立保育園での森林教育を推進するため、指導者が現地に赴き、保育園付近の森林での活動を支援。園児たちが、森林の中にあるもので、頭と体を使い工夫して遊ぶ体験を実施。

# (6)指導者・民間団体の育成プログラム

## 小学校教員



### 森で算数・英語

岐阜県教育委員会の自然体験講座として、県内の保育士・教員向けに、野外で体を動かしながら算数と英語を教えるプログラム。

小学校で児童を対象に実践するなど、現任教員に森や校庭で教科を教える体験を実施。

## 保育士



### 保育士のための危険予知

保育園の保育士を対象に、野外でのリスクマネジメントを学ぶ講座を開催。危険を排除するのではなく、それを踏まえた上で、楽しく活かすことを体験を実施します。

## 木工指導者等



### グリーンウッドワーク指導者養成研修

生木でものを作るグリーンウッドワークの基本から、スプーンや皿、椅子をつくる技術を学ぶ。

## 自然活動団体



### 自然体験活動による体験交流会

岐阜県内の自然体験活動指導団体同士のネットワークの構築や意識を変えることを目的として、研修会や交流会を実施。

# 6 産学官連携

## 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム

森林・林業・林産業を新たな成長産業とするため、産学官連携・海外連携により新たな技術の開発やその普及を図るため、積極的に外部資金を導入しながら共同研究・開発、研修・交流等に取り組むコンソーシアムを設立

- ◆設立： H26年(2014)
- ◆理事長： 涌井史郎(森林文化アカデミー学長)
- ◆会員数： 115社・団体等(R6.3.31現在)

## 大学・企業との連携

### □住友林業

学生への講義(市川会長が本校の特別招聘教授)、森林教育(森の体験プログラム)、社員研修、コンソーシアム特別会員など

### □清水建設[協定R1.8.20~]

相互講義、社員研修、木育活動支援、森林教育(社員による森づくり)、コンソーシアム特別会員など

### □中部大学国際GISセンター[協定R2.6.9~]

IT活用による森林管理、森林資源情報収集(地理情報システム、リモートセンシング等) など



清水建設本社  
による講義



清水建設東京木工所  
による実習



住友林業  
市川会長による講義

# (1) 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム

## 会員による各種活動

### ① 共同研究活動への参加

※ 特別・一般・学術・行政会員のみ。賛助会員はオブザーバー参加。



#### 新たな森林経営委員会

森林経営管理法に基づく新たな森林経営に向けた取組みを実施



#### 森林整備・育成委員会

造林・保育にかかる課題解決に向けた取組みを実施



#### 木材生産改善委員会

木材生産・路網開設の効率化に向けた取組みを実施



#### 木材利用拡大委員会

非住宅建築への県産材の需要拡大や新たな用途開発に向けた取組みを実施

### 成果公表によるビジネス化・国内外への展開

### ② 交流研修会等への参加

### ③ 海外技術連携調査への参加

### ④ その他 施設利用助成等の活動

## 会員

### 産

特別会員（50万円～）

一般会員（10万円）

賛助会員（3万円）

県内外の林業・木材産業・建設業関係者 など

### 学

学術会員（年会費免除）

岐阜県立森林文化アカデミー、岐阜県森林研究所、その他（岐阜大学ほか）

### 官

行政会員（年会費免除）

林野庁中部森林管理局、岐阜県、市町村

## ①林業労働災害の撲滅・減少に向けた研修会の開催

- ・林業労働災害の撲滅・減少に向け、労働安全衛生マネジメントや林業安全カードを使用し伐木作業に関する安全知識を学ぶ研修会を開催

## ②経営・体質改善研修会の開催

- ・作業の効率性や収益性を考慮した現場管理ができる林業技術者の育成に向け、鹿児島大学が実施している出前講座「施業集約化と事業体会計」を取り入れた研修会を開催



①林業安全カード(伐木作業)を活用した安全研修会



②経営・体質改善研修会

## ③スマート林業による森林資源管理検討会の開催

- ・スマート林業で期待される地上レーザー計測機（OWL）とスマートグラス（AR）を活用した研修会を開催

## ④広葉樹資源量の計測技術の調査研究

- ・リモートセンシング技術を活用した天然林（広葉樹林）の資源量調査を実施



③スマート林業研修会



④無人ヘリによる天然林（広葉樹林）資源量調査

## ①欧州で採用NO.1ツリーシェルター（TUBEX）の日本導入

- ・ 県内各地で実証開始（平成30年度～）

## ②早生樹（コウヨウザン・センダン）造林検証実施中

- ・ 県庁森林経営課と共同で育成検証開始（令和元年度～）
- ・ コウヨウザンを県の造林樹種に指定（令和3年度～）



①欧州製ツリーシェルター（TUBEX）の設置



②早生樹（センダン）の植栽、育成調査

## ③森林サービス産業創出に向けた検討会の開催

- ・森林サービス産業の普及拡大に向け、県内外で先駆的に取り組んでいる事業者を視察し、今後の展開について検討

## ④獣害対策担い手育成研修の開催

- ・野生動物管理と獣害対策を考える研修会を開催
- ・新たな忌避剤の開発に向けたクスノキ抽出成分の試験施工



⑤森林をキャンプサイトとしてレンタルする「forenta」の視察



④ロッテンブルク林業大学教員等による獣害対策研修会

## ①新たな林業機械の導入

- ・危険木の枝払い・伐倒からトラックへの積込まで1人で実施可能なオランダ製搭載型フェリンググラップルを導入  
（会員企業が令和元年度から代理店となり国内販売開始）

## ②農業用トラクタの林業分野での活用実証の実施

- ・農業用トラクタに欧州製ウィンチアタッチメントを装着し、林業分野での活用に向けた検証を実施



①フェリンググラップルの導入



②農業用トラクタの活用実証

## ③スマート林業による路網・素材生産検討会の開催

- ・ 林業用無人化機械の開発に向けた検討会等を開催

## ④「作業者同士の現場視察・意見交換会（木樵の技術交流会）」の開催

- ・ 林業事業体の垣根を越え、森林技術者同士が交流・意見交換することで、互いに労働安全性や作業効率の向上につなげる交流会を開催



③油圧式集材の現地見学会



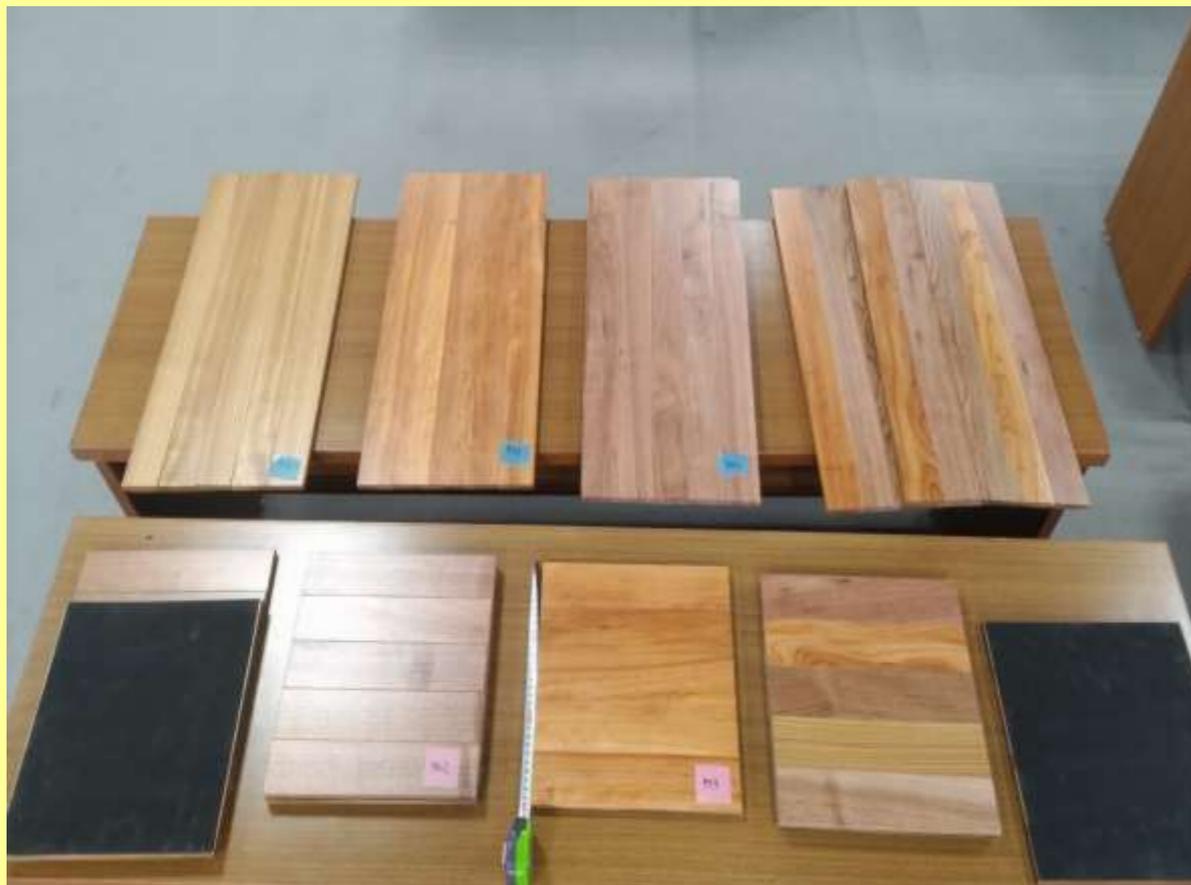
④作業者同士の現場視察・意見交換会（木樵の技術交流会）の開催

## ①非住宅木質化プロジェクト

- ・ 県産材の利用拡大を図るため、広葉樹を活用したフローリング等のプロダクト商品を開発

## ②コウヨウザンの活用に関する試験・研究

- ・ 県産コウヨウザンを活用した製材・乾燥そして家具試作に関する試験・研究を実施



①サクラ、クワ、エンジュ等の7樹種によるフローリング、家具等天板材の試作品作成



②コウヨウザンを活用したテーブル

## ③木質バイオマスボイラー導入推進プロジェクト

- ・木質バイオマスエネルギーやJクレジット制度等を学ぶ研修会や、地熱や木質バイオマスを利用した木材乾燥施設等を視察

## ④広葉樹活用検討会の開催

- ・未利用県産広葉樹の利用拡大を図るため、イタヤカエデやサクラなどの樹種を曲げ試験や接着試験等の各種強度試験を実施

## ⑤改質リグニン勉強会の開催

- ・リグニンネットワークセミナーに参加し情報を収集



③木質バイオマス研修会



③高山市奥飛騨温泉郷の温泉熱を利用した乾燥施設の視察

## ① 会員とアカデミー学生とのマッチングの実施

- ・ アカデミー学生の会員への就業を支援するため、企業説明会（キャリアデザイン及びキャリアカフェ）を開催

## ② 会員とアカデミー教員との意見交換会の開催

- ・ 林業・木材産業に係る課題共有に向け、会員とアカデミー教員との意見交換会を開催



① 企業説明会（キャリアデザイン）の開催



② アカデミー教員との意見交換会の開催

## ③ 会員若手同士の交流会の開催

- ・ 会員の横のつながりや、課題解決に向けたきっかけづくりのため、交流会を開催

## ④ 外部講師による講演会の開催

- ・ 林業・木材産業に係る外部講師を招聘し、各種講演会を開催



③交流会の開催（Eバイクの試乗体験）



④外部講師による講演会の開催

## ①日独林業シンポジウムの開催（平成29年度）

- ・日独の取組みを広く周知するとともに、日独企業間の連携強化を図るため、岐阜県と共催で日独林業シンポジウムを開催  
（参加者数：延べ608人）

## ②ドイツ林業先進地調査の実施

- ・林業先進国のドイツとの技術連携を進めるため、先進地調査を実施  
（平成30年度、平成31年度）



①日独林業シンポジウムの開催



②ドイツ林業先進地調査

## ①知事への提案・要望活動

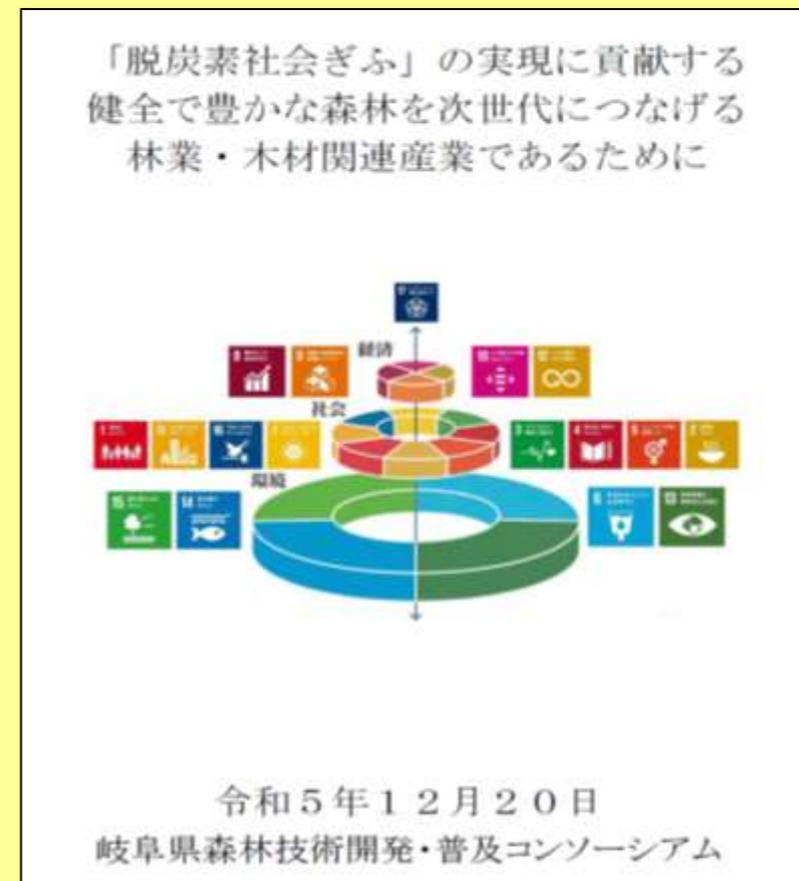
- ・ 林業関係 5 団体と共同で、知事へ提案・要望活動を実施

## ②「かわら版」の発行

- ・ コンソーシアムの活動状況について、会員へ周知



①知事への提案・要望活動



①要望書（表紙）

# (3)コンソーシアム会員への学生の就職実績

単位：人

卒業年度	コンソ会員への就職者数	エンジニア科			クリエイター科		
		卒業生数	うちコンソ会員	コンソ会員への就職率	卒業生数	うちコンソ会員	コンソ会員への就職率
H26	5	18	5	27.8%	15	—	0%
H27	5	17	5	29.4%	16	—	0%
H28	6	22	3	13.6%	9	3	33.3%
H29	8	17	5	29.4%	22	3	13.6%
H30	12	21	9	42.9%	15	3	20.0%
R1	10	18	8	44.4%	19	2	10.5%
R2	12	23	6	26.1%	20	6	30.0%
R3	16	24	15	62.5%	15	1	6.7%
R4	14	23	13	56.5%	22	1	4.5%
R5	11	23	11	47.8%	16	—	0%



森林技術開発・支援  
センターの主な業務

- ①林業関連制度の普及（新たな森林管理システムなど）
- ②林業技術の普及（特用林産物など）
- ③スマート林業・林業機械の普及
- ④産学官連携の推進

## <最近の重点分野> 特用林産物の振興

- ・キノコなどの特用林産物の生産額は県の林業産出額の約4割を占め、山間地域の重要な産業
- ・県は R 1 年「岐阜県特用林産物の振興方針（キノコ類）」を策定  
県特産品としての魅力を構築するためキノコ生産を重点的に振興

## スマート林業の普及

- ・林業の新技术（デジタル化、ICT・IoT機器）を林業事業者等へ普及
- ・造林・育林作業の改善（機械化・無人化）
- ・林業を安全で働きやすく魅力ある職場に改善

# (1) 特用林産物の振興

## 1 原木等生産資材対策

- ・キノコ用原木の安定供給を図るため、原木林の造成や原木生産技術の検証、普及を行う
- ・県内の森林資源を有効に活用するため、利用可能な資源情報等の集積、提供を行う



## 2 キノコ生産対策

- ・経験の浅い生産者へのサポート、既生産者の生産規模拡大や栽培品目の拡大等に向け技術的な支援を行う
- ・研究機関等と連携し、気候変動や病害虫防除に対応するための技術開発に取り組む



## 3 販売対策

- ・県産キノコ類の安全性を確保するため、第3者認証（GAP認証・有機JAS認証等）の取得等を推進する

## (2)スマート林業の普及（令和2年～5年度）

### 林業のデジタル化・新技術の普及

#### デジタル機器等の普及

県導入機器（○印）等の研修会開催による普及

○調査用ドローン

○森林3次元計測システム「OWL」

○写真測量3Dデータ生成ソフト「メタシェイプ」

○ハーベスタシミュレータ

○伐木技術教育VRシミュレーター

○路網設計支援ソフト「FRD」

○携帯圏外通信システム「Soko-Co Forest」

○携帯圏外通信システム「GeoChat」

○GNSS「DG-PRO1RWP」「Geode+ARUQ」

・Mapry（3次元計測システム）・無人ヘリ・KUMIKI・OWL-ARなど

#### GISの推進

・ぎふ森林情報WebMAPの公開

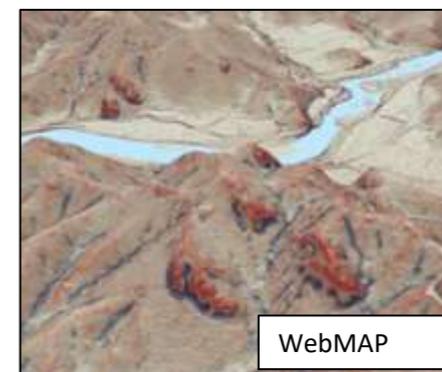
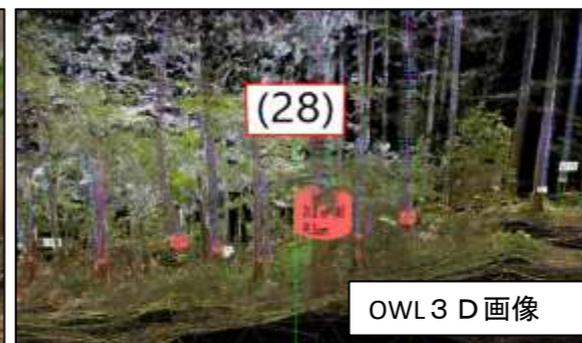
・QGIS研修

・G空間情報センター公開登記所備付地図データ活用講習会 など

#### 携帯圏外における通信技術の構築及び普及に関する連携協定（R4～）

（岐阜大学Coデザイン研究センター、中部電力PG岐阜支店、森林文化アカデミー）

・GeoChat通信網の利用、携帯圏外通信実証試験（スターリンク等）



## 造林・育林作業の改善（最新式林業機械の普及）

### 林業無人化技術の開発（R2～R3）

- ・業務委託、現地検討会および意見交換会の開催  
高所無人掘削機＋（根株ドリル、  
植穴アタッチメント、資材運搬用荷台）  
リモコン草刈機



### 経営モデル実証事業（R4～R5）

- ・ICTハーベスタ、山もっとモット（R4）
- ・油圧式集材機、架線式グラップル（R5）



### 最新式林業機械等の見学会

- ・アシストスーツ・リモコン式草刈機（R2）
- ・枝打ロボット（R3）
- ・油圧式伐木機（R4）
- ・リモコン式下刈機（R5）  
ハイδροマチック・モア  
RAPTOR100
- ・ドローンによる予備架線研修（R3,R5）  
など



## (2)スマート林業の普及（令和2年～5年度）

		R 2	R 3	R 4	R 5	計
林業のデジタル化・ 新技術の普及	回数	7 研修 2 1 回	1 1 研修 6 4 回	1 6 研修 2 8 回	2 0 研修 2 6 回	5 4 研修 1 3 9 回
	参加人数	2 1 9 名	1, 0 0 4 名	3 1 8 名	3 6 6 名	1, 9 0 7 名
造林・育林作業の改 善（最新式林業機械 の 普及）	回数	3 研修 6 回	3 研修 6 回	3 研修 4 回	3 研修 5 回	1 2 研修 2 1 回
	参加人数	1 3 3 名	1 1 3 名	5 9 名	1 2 9 名	4 3 4 名

※R3の「林業のデジタル化・新技術の普及」は、シミュレータの貸出実績を含む。

R5の「造林・育林作業の改善」は、別にYouTubeの動画公開している「最新式林業機械紹介」の視聴回数（2本の合計）3,505回がある。（R6.3.22現在）



# 8 広報

Web活用を中心に、アカデミーの活動を積極的に県内外にPR

- ・ アカデミーの活動をHP・ブログ・FBで紹介
- ・ アカデミーブログはほぼ毎日更新
- ・ morinos開所に伴い、morinosホームページも開設

<令和元年度>

アカデミーホームページは、第53回林業関係広報コンクールHP部門「最優秀賞」を受賞

